I 青果情報

1 1月下旬～2月中旬までの経過

気 象 1月下旬は、冬型の気圧配置が長続きせず、平均気温は沖縄・奄美で平年並、その他の地域では平年より高かった。降水量は北日本太平洋側、東日本日本海側、沖縄・奄美では平年並、それ以外の地域では平年より少なかった。日照時間は北日本太平洋側では平年より短く、それ以外の地域で平年より長かった。

2月に入ると、平均気温は東日本太平洋側及び北日本は平年を上回り、それ以外の地域では平年を下回った。日照時間は東日本及び北日本の各太平洋側では平年より長く、それ以外の地域は平年より短かった。降水量は北日本～西日本の日本海側で平年より多く、それ以外の地域では少なかった。

野菜類

入荷量 「キャベツ類」「はくさい」「だいこん」を中心に入荷した。
全国的な低温により、関東のみならず西南暖地・九州産野菜も不安定となり、入荷増には至らなかったほか、大雪の影響で北海道産の「ばれいしょ類」「たまねぎ」の輸送にも影響が出た。
先月同様に前年比で数量減となり、特に「はくさい」「にんじん」は入荷量が少なかった。「ねぎ」では積雪により一部産地では畑に入れず、また、乾燥による品質低下もあり全国的な流通量が減少する場面もあった。
野菜全体では1月下旬から2月中旬までの入荷量は102,965t（前年比90.1%）と前年をかなり下回った。

相 場 入荷量が少なかった「はくさい」「にんじん」は単価高が続いた。また、「ねぎ」では流通量の減少に伴い相場の急騰もみられた。
野菜全体では、1月下旬から2月中旬までの価格は334円/kg（前年比129.0%）と前年を大幅に上回った。

果実類

入荷量 「いちご類」「みかん類」「かんきつ類」「りんご類」を中心に入荷した。
「いちご類」は2月中旬に2番花のピークを迎え、入荷が増えた。
「かんきつ類」は、「ぼんかん」「いよかん」「不知火」等中晩柑の入荷が本格化しているが、昨夏の高温等の影響により不作傾向となっている。
果実全体では、1月下旬から2月中旬までの入荷量は29,730t（前年比89.0%）と前年をかなり下回った。

相 場 「みかん類」「かんきつ類」は前月より引き合いは弱まったものの、不足感が引き続き強く、「りんご類」と併せて高値基調となった。
果実全体では、1月下旬から2月中旬までの価格は716円/kg（前年比123.9%）と前年を大幅に上回った。